

## 7つのテーマ 67項目の要望

日本共産党甲賀市議員団は11月30日、新年度予算に市民の切実な要望・願いを盛り込むよう、市に要望書を手渡ししました(写真は副市長に要望書を手渡す議員団)。今回は、部局ごとの要望書ではなく、焦点となっているコロナ対策や甲賀市がかかえる少子化・高齢化対策、外国人、区・自治会と自治振興会のあり方など、7つのテーマ・68項目にまとめています。詳細は議員団ホームページに掲載しています。



# 新年度予算に市民の切実な願い実現を

## 日本共産党甲賀市議員団が予算要望書提出

12月議会は11月26日に開会、12月23日まで開かれました。冒頭、岩永市長の所信表明に対する各会派の代表質問が行われ、日本共産党甲賀市議員団を代表して山岡光広議員が質問しました。その骨子を紹介します。

山岡議員は、岩永市政2期目のスタートにあたり、①国政の焦点と市長の政治姿勢、②新型コロナウイルス危機からのちと暮らしを守り経済を立て直すことについて、③「新しい豊かさ」「選ばれるまちづくり」とは何か、④新年度予算編成のポイント、⑤少子化対策と高齢化対策、⑥区・自治会と自治振興会のあり方、⑦人口増となっている外国人、⑧道路網・交通網の拡充の8つのテーマで57項目にわたって質問しました。

山岡議員  
代表質問

8つのテーマ  
57項目



今議会から、議場で発言する演台に新型コロナウイルス感染防止のための「アクリル板」が設置されました(写真は発言する山岡議員)。この時だけマスクを外して発言可能。

特に新型コロナウイルス感染拡大が深刻になる中で、爆発的な感染拡大を抑止するためには、大規模・網羅的なPCR検査が必要であり、医療や介護施設・学校・保育園などで定期的な「社会的検査」を行うべきと求めました。またインフルエンザワクチンが不足している問題でも県と国の責任で確保すべきと求めました。また、コロ

ナ禍の中で少人数学級のの実現を求めた中で、当面30人学級を実現するには、甲南第一小4学級・甲南中部小4学級・希望ヶ丘小3学級など小学校11校で35学級、甲南中3学級など中学校4校で11学級増やすことになり、それに伴う教室・教員などの体制が必要であることが明らかになりました。少子化対策では、「出

産祝金」制度の創設、国保の均等割軽減、中学校卒業までの医療費無料化、給食費の負担軽減、待機児童対策など積極的な施策を提案。高齢化対策では、高齢化率が市平均でも27%になり、約4軒に一軒の割合で65歳以上高齢者の一人暮らし世帯になり、連合会に組織される老人クラブが少なくなっている現状をふまえて、連合会に参加していない単位老人クラブに直接の補助、緊急通報システムの要件緩和、特養施設の増設、介護保険料利用料の減免などを求めました。さらに10年後には「空き家」対策が深刻な事態になることの実態を示して対策を求めました。

区・自治会と自治振興会の活動のあり方が問われている問題では、区・自治会は自治振興会の下請け機能ではないので、少なくとも区活動交付金・基礎交付金は区・自治会に直接届くよう提案しました。市内総人口の4%を占める外国人についても取り上げ、言葉の壁や生活習慣の違いから、ゴミ出しや就労などをめぐって地域コミュニティが課題になっている問題を取り上げ、市の相談窓口拡充、在日外国人福祉給付金の支給要件を緩和するよう要綱の見直しを求めました。道路網・交通網の整備では、市の意識調査でも最も要望が多いテーマです。市道の未舗装、市道の凸凹舗装の改修、市道側溝の改修、市道認定、横断歩道や信号機設置など交通安全対策と、より利便なコミバス・コミタクになるようダイヤの改善や増便などについても要求しました。

## 核兵器禁止条約

2017年7月7日に国連が採択した核兵器禁止条約を50カ国が批准したため、1月22日に正式に発行されることになりました。核兵器の開

## 1月22日発効へ

発・実験・製造・備蓄・移譲・使用及び威嚇としての使用を禁止するなど、核兵器を非人道的で違法とする国際条約です。

## 甲賀広域行政組合議会でも積極的に発言

山岡光広議員は、甲賀広域行政組合議会でも積極的に発言。10月の議会ではドクターヘリと救急車の連携について。また12月議会では、電気自動車の急速充電スタンドについて省令が変更されたことから、その内容と対策について質問しました。



やまおかみつひろ

山岡光広

市議会議員 活動報告

2021年1月1日  
第852号

日本共産党

0748-86-2985 Fax0748-86-0415

yama729@maia.eonet.ne.jp <http://www.facebook.com/mituhiro.yamaoka>